

(14) 事業者へのヒアリング（その1）

■ 事業者・地域住民・行政のパートナーシップによる景観形成の取組

／株式会社 ワコールホールディングス

取組のポイント

- 事業者、住民という地域の担い手は、その立場や地域に対する思いが少しずつ異なるため、最初にまちづくりの課題や方向性を確認した上で、それぞれの役割分担を明確にすることが重要になる。このためには、各関係者が集まり、議論する場が必要。
- また、“地域”における景観づくりの取組が活発に行われていることは、(株)ワコールからの「具体的な取組場所（公開空地）の提供」も不可欠であった。

① 事業者・地域住民の問題意識

- ・事業者、地域住民がそれぞれJR西大路駅前の違法駐輪（約1400台）に対して悩みを抱える
- ・しかしながら、事業者と地域住民の相互コミュニケーションの場がない



② 行政による場づくり、課題・方向性の共有

- ・京都市の呼びかけにより、事業者(ワコール、日本新薬、掘場製作所、ジーエス・ユアサ)と地域住民がまちづくりの課題を議論する機会が設けられる



③ 事業者・地域住民・行政による協働の取組

- ・地域住民、事業者が「西大路駅周辺を美しくする会」を立ち上げ、毎朝、駅周辺の放置自転車整理や清掃活動等をスタート
- ・地域住民がリーダーシップ（計画・実行）をとり、事業者と行政がバックアップという役割分担の明確化



④ ワコールが所有地を駐輪用地・公園として提供

- ・(株)ワコールが本社ビル建替えに伴って敷地の一部を公開空地（約3800㎡）とし、それを地域のための活用することを提案
 - － 駐輪場用地の無償提供（約1000㎡）
 - － 公園（約2800㎡）デザイン等を地域住民と検討

「美しくする会」
の継続的活動
・清掃活動
・駐車場管理



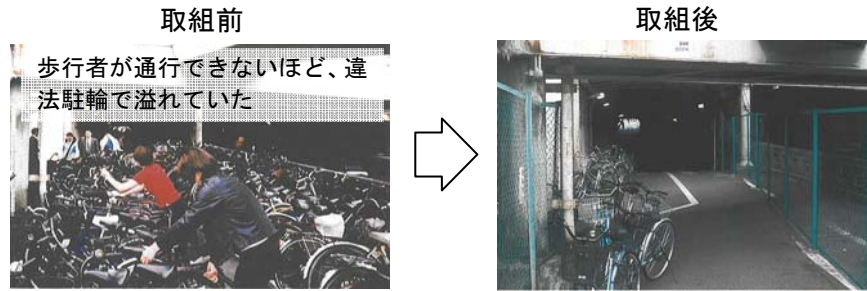
⑤ 「西大路駅周辺を美しくする会」の活動継続

- ・清掃活動（周辺店舗等も自主的に取り組む）
- ・駐輪場の管理



- 駅周辺が公園（公開空地）を中心に清潔、潤いや四季を感じる空間に保たれ、地域が公園に係わりを持つことで、無くてはならない空間として存在している
- 事業者と住民、事業者間の円滑な情報交換、相談の仕組みが確立した

＜放置自転車対策＞ 駐輪場整備等



＜公開空地＞ 駐輪場、公園

公開空地（赤線）

【駐輪場】（約 1000 m²）

- ・ワコールが京都市に用地を無償提供。
- ・京都市が駐輪場を整備し、「西大路駅周辺を美しくする会」が管理運営を受託。

【公園】（約 2800 m²）

- ・ワコールの公開空地を「住民参加のワークショップ方式」で、デザインや使い方を検討し、並木・花壇・芝生・広場などの要素を備えた公園「You You パーク西大路」として整備。
- ・公園では、小学生を対象とした「花いっぱい運動」、中学生と消防音楽隊のジョイントコンサート等を実施。

- 空間に変化を感じさせる起伏のある芝生
- 四季によって表情を変える樹木
- 足踏み運動もできる小石の洗い出し
- オープンで出入りのある芝生空間
- 周辺地域のシンボルとしての時計塔
- 季節感を演出する花壇
- 地域への情報発信を行なえる情報掲示板
- イベントも開催出来る広場
- 歩道状空地との境界はバリアフリー

●この公開空地はワークショップによる計画づくりの成果が各所に生かされています。

(株)ワコールホールディングス

事業内容 : ファンデーション、ランジェリー等の製造・販売等

本社所在地 : 京都府京都市南区吉祥院中島町 29